

Accuphase

6-CHANNEL POWER AMPLIFIER

PX-600

6チャンネル完全独立、同一仕様のパワーアンプ（パラレル・
プッシュプル出力段により100W×6（8Ω）\ 150W×6（4Ω）
ブリッジ接続により300W×3（8Ω）にグレードアップ）優れた
音質と安定度を誇るカレント・フィードバック増幅回路
700VAのスーパーリング型大型トroidal・トランス 3個の
大型アナログ・パワーメーター装備





ハイエンドのマルチチャンネル・サラウンドを構築——完全独立・同一仕様の6chパワーアンプ・ユニット搭載、150W×6(4Ω) 100W×6(8Ω)の強力パワーを実現。700VAの大容量トロイダル・トランスによる強力電源部を装備。優れた高域特性をもつ『カレント・フィードバック増幅回路』を採用。ブリッジ接続により300W×3(8Ω)の大出力アンプにグレードアップ。

CX-260/PX-600は、ホームシアター用マルチチャンネル・サラウンドに対応、オーディオとビジュアルとの真の融合を目指し完成した、待望の本格的セパレート・アンプです。CX-260/PX-600には、アキュフェーズが長年にわたって蓄積したビュア・オーディオの技術とその感性、音に対するこだわりとノウハウの全てを投入しました。今までのオーディオだけのリビングの中にビジュアルを採り入れ、オーディオ・ファイルがビュア・オーディオと同等のクオリティで映像サラウンドを楽しむことができる製品です。コンサート・ホールやムービー・シアターで味わう感動をリビング・ルームで体験、新しい音楽・映像の楽しみを発見して、魅力あるハイエンドのホームシアター・ライフを満喫してください。

パワーアンプPX-600は、同一規格の高性能パワーアンプを6個搭載し、6チャンネルとも同一クオリティの音質、圧倒的な臨場感、雄大なスケールで躍動感溢れるサラウンドを満喫することができます。さらにブリッジ接続にして、計3チャンネルの大出力アンプにアップ・グレードすることができます。この組み合わせにより、1～6チャンネル仕様まで、さまざまな用途で使用可能となります。

6チャンネル完全独立した、同一性能のパワーユニットを搭載。1/2/3/4/5/6チャンネルの多用途仕様に対応

第1図がPX-600のブロック・ダイアグラムです。完全に独立した同一性能のパワーアンプ・ブロックを6個搭載、一台でDVDプレーヤーなど5.1chソフトのリアルな大迫力サラウンドを実現することができます。また2チャンネルずつの3ブロックがそれぞれブリッジ接続可能です。このため、ノーマル/ブリッジの任意の組み合わせにより、1～6チャンネル仕様まで多用途パワーアンプとして活用することができます。

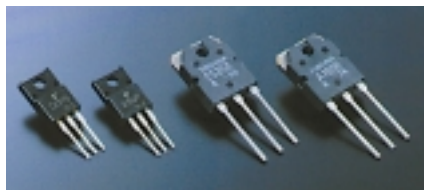


CX-260/PX-600は重ねて使用しないでください。

ビュア・オーディオとして通常のステレオ仕様、ブリッジ仕様、パイアンプ接続などに使用できます。更にマルチチャンネル・ディバイダーと組み合わせて、2Wayや3Wayマルチアンプ・システム、サブ・ウーファー方式などに発展させることもできます。

パラレル・プッシュプルの出力段による強力パワー。
6ch動作時：150W×6(4Ω)、100W×6(8Ω)
2ch動作時：220W×2(4Ω)、130W×2(8Ω)

出力素子は、周波数特性、電流増幅率リニアリティ、スイッチング等の諸特性に優れ、コレクター損失150W、コレクター電流15Aというハイパワートランジスターを採用しました。この素子をパラレル・プッシュプルで構成(第2図)し、アルミダイキャストによる巨大なヒートシンク上に取り付け、効率的な放熱処理をしています。

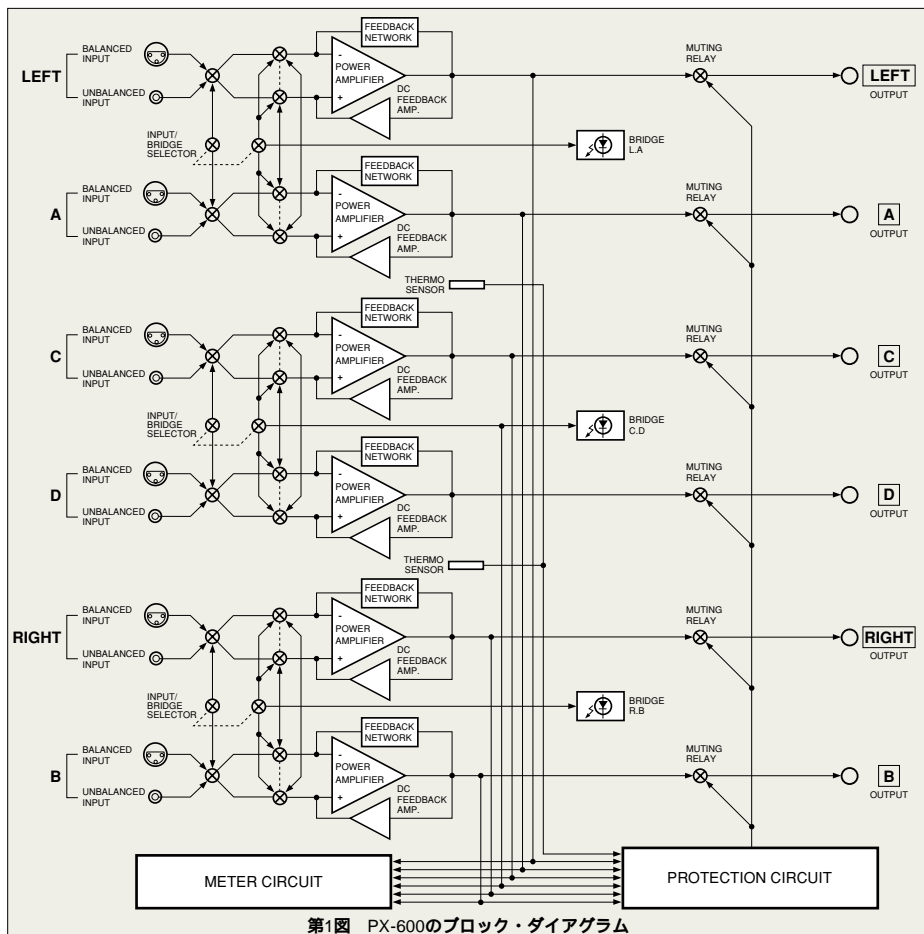
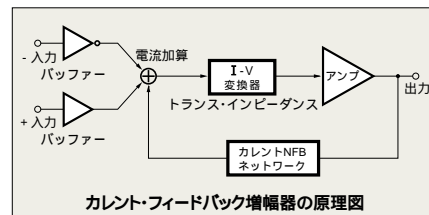


ブリッジ接続により大出力アンプにグレードアップ。
3chブリッジ：320W×3(6Ω)、300W×3(8Ω)
2chブリッジ：420W×2(6Ω)、350W×2(8Ω)

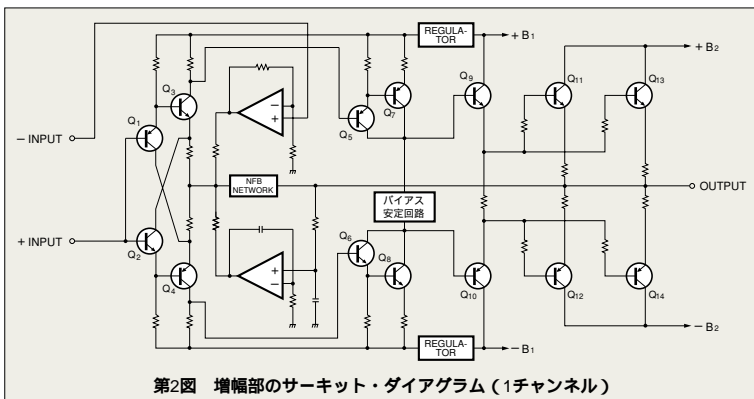
ブリッジ接続は、極性が異なる2つのアンプに、逆相信号を入力し、両アンプの出力端にスピーカーを接続します。ブリッジ接続により大出力アンプにグレードアップすることができ、一段と量感豊かなパワーを供給することができます。

高域の位相特性に優れた、カレント・フィードバック増幅回路

増幅回路方式は、出力信号を電流の形で帰還するカレント・フィードバック増幅回路を採用しました。この方式は、帰還入力部分のインピーダンスが極めて低いので、位相回転が発生し

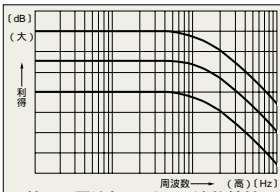


く、その結果位相補償の必要は殆どありません。このように、少量のNFBで諸特性を大幅に改善できるため、立ち上がり等の動特性に優れ、音質面でも自然なエネルギー応答を得ることが



第2図 増幅部のサーキット・ダイアグラム (1チャンネル)

できます。第3図に電流帰還増幅器の利得を変



第3図 電流帰還型の周波数特性 (利得が変化しても、周波数特性は変化しない)

化させた場合の周波数特性を示します。広い帯域にわたって一定の特性であることが分かります。

スーパーリング型巨大トロイダル・トランス、大容量フィルタ・コンデンサーによる強力電源部

電源部は全ての電力の供給源で、パワーアンプにとって重要な部分です。電源トランスは、約700VAの大電力容量トロイダル型を採用しました。さらに、熱伝導にすぐれ防振効果の高い充填材を用いてケースに固着、外部への影響を

完全に遮断します。トロイダル・トランスは、ドーナツ状のコアに太い銅線を巻くため、非常にインピーダンスが低く、小型で、変換効率が極めて高く大出力パワーアンプには不可欠な部品の一つです。特に、今回採用したスーパーリング型は、鉄芯の断面が円に近く、コイルも円形に近く巻け密着性が良いため、オーディオ用として優れた特性を備えています。また、フィルター用アルミ電解コンデンサーには、47,000 μ Fの超大容量を2個搭載、絶大な余裕度を誇ります。



■3個のアナログ式大型パワーメーター装備。切替で6chのパワー値を直読。メーターの動作と照明をON/OFFするスイッチも装備。

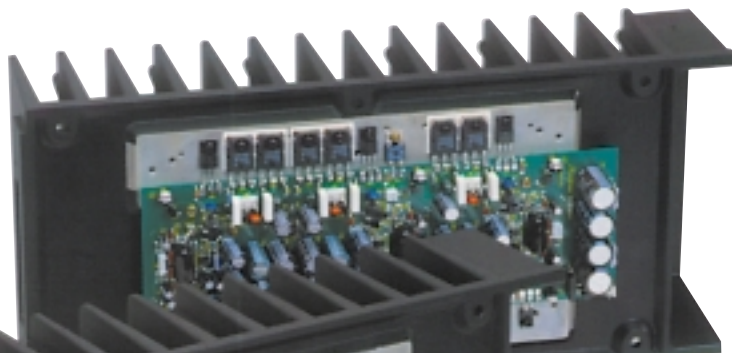
■大型スピーカー端子を装備

■外来誘導雑音を受けにくいバランス接続



バランス入力コネクター

2個のアルミ・ダイキャスト巨大ヒートシンクに取り付けられた、合計6チャンネル(1チャンネル当たりパラレル・プッシュプル出力段とカレント・フィードバック増幅部を搭載)のパワーアンプ・ユニット。



PX-600を活用する接続例

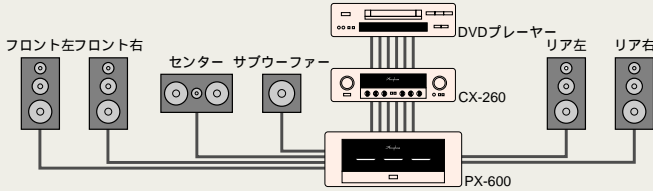
インピーダンス4~16 のスピーカーを使用してください。
ブリッジ接続の場合は、6~16 のスピーカーを使用してください。

6チャンネル・サラウンド演奏

DVDプレーヤー、外部デコーダーなど5.1chアナログ音声出力を持つ機器とCX-260を接続、その出力をPX-600に入力します。

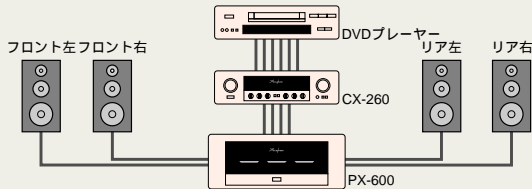
6チャンネル(5.1ch)サラウンド演奏

パワーアンプ内蔵 アクティブ型 サブウーファーを使用する場合は、CX-260のD出力端子とサブウーファーの入力端子をプラグ付オーディオケーブルで直接接続。



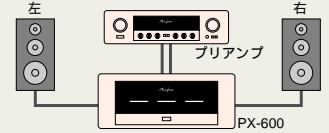
4チャンネル(ダウン・ミックス)演奏

フロント2、リア2の計4チャンネル演奏。センター・スピーカーとサブウーファーは不要。(CX-260の『DOWN MIX』をON)



2チャンネル(ステレオ)演奏

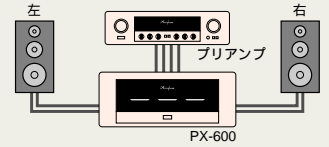
- 1 PX-600の2チャンネルを使用し、ステレオ演奏
- 2 4チャンネル使用して、ブリッジ接続によるステレオ演奏



バイアンプ方式によるステレオ演奏

バイアンプ方式は、LOW(低域)側とHIGH(高域)側のスピーカー・ユニットを別々のアンプで駆動し、高音質の演奏を楽しむことができます。

2系統の出力をもつプリアンプが必要です。また、ネットワークを内蔵し、端子がLOW/HIGH分離しているスピーカーが必要です。

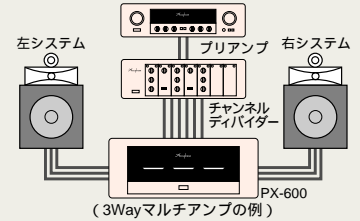


マルチアンプやサブウーファー・システム

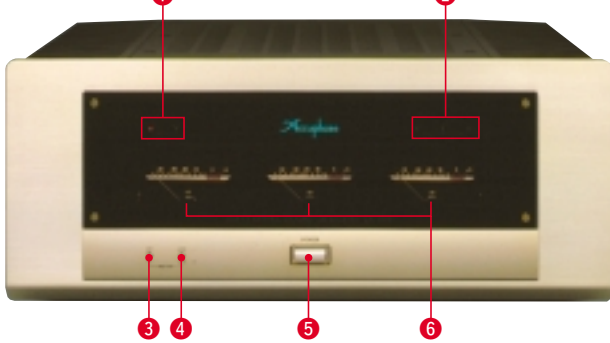
独立6チャンネルのパワーアンプを有効に活用して、一台で高音質マルチアンプ・システムを構築することができます。

マルチチャンネル・ディバイダー(F-20,F-25V,DF-35等)と組み合わせて接続。サブウーファーは、パワーアンプを内蔵していない(パッシブ型)スピーカーを使用。

- 1 3Wayマルチアンプ・システム
- 2 2Wayマルチアンプ・システム
- 3 『ステレオ+サブウーファー』システム
- 4 『2Wayマルチ+サブウーファー』システム

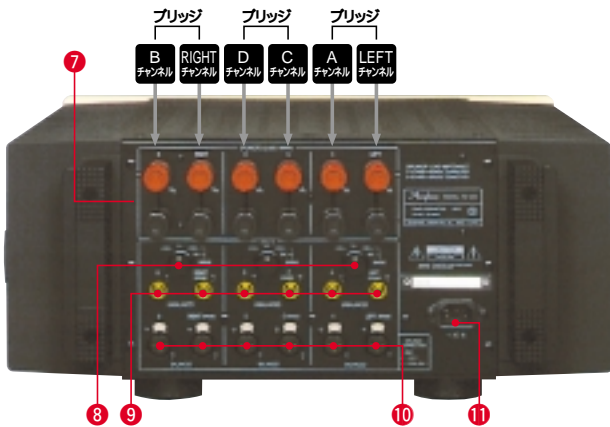


フロントパネル



リアパネル

LEFT,RIGHT,A,B,C,Dの6チャンネルは、同一仕様で完全独立
LEFT/A,C/D、RIGHT/Bチャンネルの3系統を任意にブリッジ接続可能



- | | | | |
|---|-----------------------|----|------------------------|
| 1 | メーター表示インジケーター | 7 | 6chスピーカー出力端子 |
| 2 | ブリッジ表示インジケーター | 8 | モード切替スイッチ(入力切替とブリッジ切替) |
| 3 | メーター作動・消灯切替ボタン | 9 | 6chアンバランス入力端子 |
| 4 | メーター切替ボタン:L,C,R/A,D,B | 10 | 6chバランス入力コネクタ |
| 5 | 電源スイッチ | 11 | AC電源コネクタ |
| 6 | パワーメーター(3チャンネルずつ切替表示) | | |

PX-600 保証特性 [保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

定格連続平均出力(20~20,000Hz間)		印の負荷は、音楽信号に限る。					
チャンネル数	負荷	B	RIGHT	D	C	A	LEFT
6ch	4	150W	150W	150W	150W	150W	150W
	6	125W	125W	125W	125W	125W	125W
	8	100W	100W	100W	100W	100W	100W
3ch	4	160W	160W	160W	-	-	-
	6	140W	140W	140W	-	-	-
	8	120W	120W	120W	-	-	-
3ch (Bridge)	6 ()	320W		320W		320W	
	8	300W		300W		300W	
2ch	4	-	220W	-	-	-	220W
	6	-	160W	-	-	-	160W
	8	-	130W	-	-	-	130W
2ch (Bridge)	6 ()	420W		-		420W	
	8	350W		-		350W	

注意:表の3ch、2ch、2ch (Bridge)の出力は、任意のチャンネルの出力値を示します。

全高調波ひずみ率	6チャンネル仕様時	0.15%	4 負荷
	3チャンネル仕様時(ブリッジ接続)	0.1%	6~16 負荷
		0.05%	6~16 負荷
IMひずみ率		0.003%	
周波数特性	定格連続平均出力時: 20 ~ 20,000Hz	+0	-0.2dB
	(全てのチャンネルにおいて) 1W出力時	: 0.5 ~ 160,000Hz	+0 -3.0dB
ゲイン(利得)	全てのチャンネルにおいて	28.0dB	
負荷インピーダンス	6チャンネル仕様時	4~16	
	3チャンネル仕様時(ブリッジ接続)	6~16	
ダンピング・ファクター	100(ノーマル仕様時)	50(ブリッジ接続時)	
入力感度(8 負荷)	6チャンネル仕様時	1.12V	定格連続平均出力時
		0.11V	1W出力時
	3チャンネル仕様時(ブリッジ接続時)	1.95V	定格連続平均出力時
	2チャンネル仕様時	1.28V	定格連続平均出力時
	2チャンネル仕様時(ブリッジ接続時)	2.10V	定格連続平均出力時
入力インピーダンス	40k	バランス	20k アンバランス
S/N(A補正、ダカショート)	120dB 定格連続平均出力時		
出力メーター	-40dB ~ +3dB 対数圧縮型、表示消灯機能付		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	166W	無入力時	
	690W	電気用品安全法	
	1,070W	8 負荷定格出力時	
最大外形寸法	幅475mm x 高さ211mm x 奥行459mm		
質量	31.2kg		

付属品 AC電源コード



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

本機の特長および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。



ACCUPHASE LABORATORY INC.

アキュフェーズ株式会社

〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10

TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052

http://www.accuphase.co.jp/

C0110Y PRINTED IN JAPAN 850-0113-00(AD1)